

4ch AC周波数パルス変換器 C-LLAC4

概要

Low level AC 拡張モジュール

C-LLAC4は、AC周波数方式の風速計(CYG-5103やCYG-3002など)から出力される正弦波を方形波に変え、信号をデータロガーのコントロールポートで受けるためのモジュールです。

AC周波数方式の風速計は、データロガーのパルスポートが2ch(C-CR1000の場合、C-CR3000は4ch)しか無いために、1台のロガーに対して2台(C-CR3000シリーズは4台)のセンサーしか接続できませんでしたが、このモジュールを用いることによって、さらに4本のセンサーを追加接続することが可能になります。



- 1chにつき1つのポートを消費します。
- C-CR1000のCポートパルス入力は40Hzまでなので、CYG-5103の場合、4m/sに相当し、現実的ではありません。C-CR1000でのAC周波数入力拡張には、C-SDM-INT8をご使用ください。

仕様

適用ロガー	C-CR1000X、C-CR3000、C-CR5000 C-CR300
電源/消費電流	DC8~16V 0.1mA@12Vdc
入力ヒステリシス	16mV@1Hz
最大入力AC電圧	±20V
最大ケーブル長	2ft(約0.6m) ※C-LLAC4~データロガー
重量	92g
寸法	8.0×5.4×2.5cm 11.2×5.4×2.5cm(マウンティング用ベースを含んだ寸法)

最小入力AC電圧(mV) × 出力方形波周波数(Hz) RMS:実効値	入力AC電圧(Mv RMS)		出力レンジ(Hz)	
		20		1.0~20
	200		0.5~200	
	2000		0.3~10,000	
	5000		0.3~20,000	

4ch アナログ出力(D/A) C-SDM-AO4A

概要

プログラム可能なアナログ出力I/Fです。C-CR800、CR1000XなどのデータロガーにSDM I/F接続して、4ch独立のD/A変換したアナログが出力可能となります。

プログラム可能なので、物理値や平均値などに変換した値をチャートレコーダー、他のアナログ計測機器へ出力します。

仕様

I/F	SDM
電源	12VDC(9.6~16VDC)
消費電流動作時	±5Vmode:13mA 0-10Vmode:28mA
出力電圧	±5000mV 0-10VDC
分解能	167μV
出力電流	50mA以下/1c 合計100mA以下 130mA以上はシャットアウト
精度	25°C: ±0.05% -40°C~+60°C: ±0.1%
動作環境	-40°C~+60°C
寸法 / 重量	135L×85D×24Hmm / 175g



- C-SDM-AO4(旧機種)との違い
- 0-10Vモードが追加
 - 分解能が2.5mV→0.167mVに向上
 - 精度が向上
 - 動作電流は増加 10.5→13mA
 - 流せる電流が大きくなった
 - 動作温度範囲が広がった